

## ●国内Cコース

「千葉県香取市佐原のシビックプライドのまちづくりとサステイナブル・ツーリズム研修」  
(担当：小島)

### 1. 目的

千葉県香取市佐原地区は、歴史・文化・景観・自治・観光といった観点から都市のサステナビリティを考えるには最高のまちといっても過言ではありません。

歴史的町並み保全（関東で初めての重要伝統的建造物群保存地区、日本遺産）、大祭（重要無形民俗文化財・国宝・ユネスコ無形文化遺産）、江戸時代に日本地図を作成し、「地域社会が豊かでなければ人は豊かになれない」という信念で地域経営の礎を築いた伊能忠敬（2018年は没後200年）などは全国的にも有名です。江戸時代から200年以上、まちづくりを続けた佐原は、まさに都市のサステナビリティを学ぶフィールドとしても最適です。

江戸との水運で結ばれ、「水郷のまち」として発展しながら、自らの都市文化を「江戸優り」と表現するシビックプライドを育ててきた佐原は、東日本大震災を乗り越え、歴史と伝統文化を活かしながらも、洗練されたレストランの集積などの店舗開発、町屋を活用したホテルによる宿泊拠点の整備など、創造的で革新的なまちづくりの営みを持続させ、近年では、サステイナブル・ツーリズムによって、首都圏からの観光客、海外からのインバウンド客が増加しています。

そこで、江戸東京学を進める法政大学の一学部である人間環境学部はNPOとの域学連携事業として、2017年度から協働で、地域公共人材の養成を兼ねて学生向け研修プログラムの開発に取り組み始めました。2018年度は、来訪者向けにリノベーションした歴史的町並みに近い町家にモニターとして宿泊することにより地域生活を体感しながら、アカデミックな視点でまちづくりを進め、出版活動も行っているNPOの研修スタッフとして、各種業務体験、関係者や関係団体への調査・取材、地元の「おかみさん会」によるイベントの運営補助などに取り組みます。シビックプライドのまちづくりとサステイナブル・ツーリズムにコミットしながら地域経営のセンスと主体性を養うことがミッションです。

### 2. 受け入れ団体

特定非営利活動法人佐原アカデミア

### 3. 対象学生と人数

2年生以上で5～7名程度とします。※ローカルサステナビリティ・コース以外にも、サステイナブル経済経営コース、人間文化コースの学生に推奨します。また佐原は成田空港に近く、グローバル化の時代におけるインバウンド需要にも対応する取り組みを進めていますので、グローバルサステナビリティ・コースの学生にも推奨できます。

### 4. 行程

8日間（日帰り1日+1泊2日+4泊5日）

- ・8月7日（火）※日帰り
- ・8月9日（木）～10日（金）1泊2日
- ・8月13日（月）～17日（金）4泊5日

### 5. 費用

自宅から現地（JR成田線佐原駅）までの交通費のほか、5日間の宿泊費・食費で1万5000円程度（町家宿泊費は1泊1000円）と研修費3000円程度の予定です。